

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【公開番号】特開 2014-47762 (P2014-47762A)

【公開日】平成 26 年 3 月 17 日 (2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-014

【出願番号】特願 2012-193796 (P2012-193796)

【国際特許分類】

F 0 1 N 1/08 (2006.01)

F 0 1 N 1/00 (2006.01)

F 0 1 N 13/08 (2010.01)

B 6 2 M 7/02 (2006.01)

【F I】

F 0 1 N 1/08 B

F 0 1 N 1/00 D

F 0 1 N 1/08 H

F 0 1 N 13/08 B

F 0 1 N 13/08 G

B 6 2 M 7/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 27 日 (2015.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明において、さらに、前記チャンバ膨張室を貫通して排気通路の一部を形成する貫通パイプを備え、前記貫通パイプの周壁に前記膨張室と連通する連通孔が設けられていることが好ましい。この構成によれば、共鳴効果を利用して、特定の周波数帯の消音効果を高めて、さらなる消音効果を得ることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

図 4 に示す排気消音装置 3 4 は、上流側の前記排気チャンバ 8 2 と下流側の前記マフラ 8 4 とを有し、排気チャンバ 8 2 の外周壁とマフラ 8 4 の外周壁とが、共通のケーシング体 6 9 により形成されている。ケーシング体 6 9 は、排気チャンバ 8 2 の外周壁全体およびマフラ 8 4 の外周壁の前部（上流部分）を含む第 1 ケーシング 8 6 と、マフラ 8 2 の外周壁の後部（下流部分）を含む第 2 ケーシング 8 8 とを有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

図４に示すように、チャンバ膨張室９０を通過する貫通パイプ１０４の周壁に、チャンバ膨張室９０と連通する連通孔１０６が設けられているので、共鳴効果を利用して、特定の周波数帯の消音効果を高めて、さらなる消音効果を得ることができる。